

令和2年度 監事交流会（施設見学学習会）

監事会は、令和2年度も会員生協を訪問し、施設見学会と学習会を通して知識を深めるとともに、各生協の監査における具体的な実践報告、事例紹介を通じて監査活動の一助となるよう、監事交流会を開催いたしました。

- ◆日時 令和2年11月17日(火)
- ◆場所 東海コープ事業連合商品検査センター
- ◆参加者 常勤・非常勤監事、会員生協の役職員、行政 29名

愛知県生協連監事会3名、生協コープあいち4名、一宮1名、生活クラブ生協2名、トヨタ生協5名、かりや愛知中央生協2名、愛知県職員生協1名、トヨタ車体生協1名、愛知県警察職員生協1名、南医療生協1名、名古屋市民火災共生協1名、東海コープ事業連合3名、愛知県行政2名、連合会2名

■感染症予防対策



●パーティション



●見学者用フェイスシールド



●非接触型体温計＋手指アルコール



●説明者用マウスシールド

開会あいさつ
水野監事会議長



訪問生協ごあいさつ
東海コープ 森理事長



施設概要説明
東海コープ 松本部長



学習会
東海コープ 斎藤先生



■施設概要説明 <東海コープ 松本部長>

- ・商品検査センターの安全・安心の取り組みについて
 - ・ // あゆみ
 - ・ // 施設概要と検査体制
- ・食の安全安心マスターブックの紹介



商品検査センターガイド (一部抜粋)

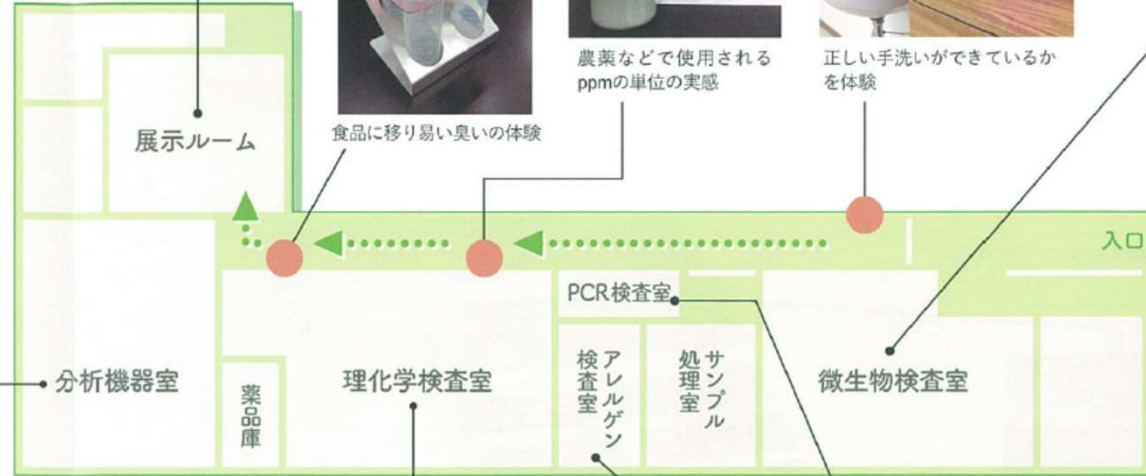
展示ルーム

●ベジチェック

野菜の充足度を測定し不足している野菜の量を知ることができます。



不足を補う野菜の量がイメージできるモデルを展示



食品に移り易い臭いの体験



農薬などで使用されるppmの単位の実感



正しい手洗いができているかを体験



微生物検査室

微生物の検査で食品の製造現場の衛生状態を確認します。食中毒菌の検査もできます。検査結果をフィードバックする事で衛生管理レベルの向上に役立っています。



分析機器室

● GCMSMS と LCMSMS

残留農薬検査の主要機器で、農産物に残留した農薬成分を極微量の測定が可能です。GCMSMS は異臭成分の分析でも活躍します。



理化学検査室

● 残留農薬検査

農薬が適切に使用され農薬の残留基準が守られているかを確認します。生協独自の農産物「栽培自慢」などは検査結果を産地にフィードバックする取り組みも進めています。



アレルゲン検査室

表示にない特定原材料が含まれていないかを確認します。



PCR検査室

遺伝子で危険な食中毒菌の確認をします。



■施設見学(2グループに分かれて見学)



検査室見学



検査内容説明



センター紹介動画



野菜の摂取量測定

■学習会<東海コープ 齋藤先生>

「食の安全・安心と生協の検査」(以下抜粋)

- ・生協と検査～残留農薬検査を自前で実施する目的
- ・組合員と一体となった食事中放射性物質の摂取量調査
- ・食品汚染のイメージ



■ 監事報告会

① 東海コープ事業連合 < 中萩常勤監事 >

- ・ 東海コープの事業概要
- ・ 東海コープの機構体制
- ・ 2019年度監査意見書
- ・ 2020年度監事監査方針と計画

② 一宮生協 < 服部総務担当 >

- ・ 監査方針
- ・ 監査計画
- ・ 監事活動計画

今後も施設見学会や学習会、監査実践報告を通じて監査活動の一助となるよう、監事交流会を継続いたします。